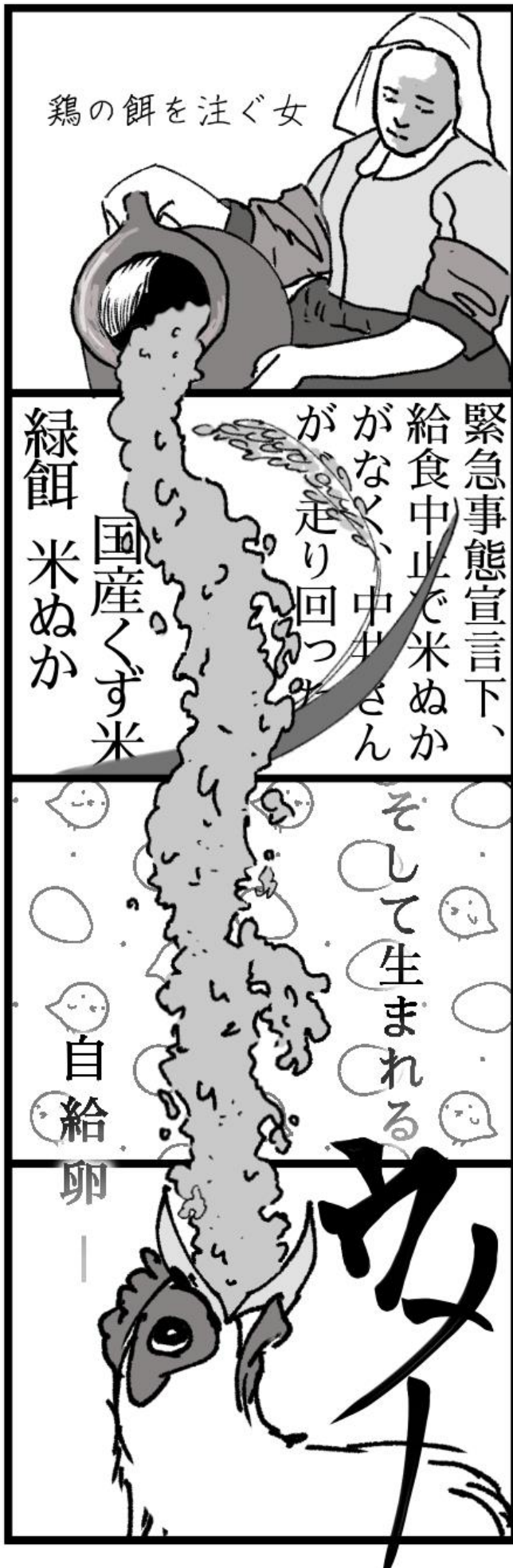


自給卵ってどんな卵？



この指とまれ農場は農場内循環や地域内循環を目指しています。輸入飼料に頼らず、地域で手に入るもので継続して餌を確保していけるあり方を考え、センター40周年に合わせてのプロジェクトとして「自給卵」ははじまりました。

農場の従来の飼料は(二種混 40%、米ぬか 30%、大豆かす 10%、魚粉 4%、カキガラ 5%、しょうゆ粕・発酵飼料・緑餌)です。

二種混:トウモロコシ・魚粉

緑餌:夏は鶏舎前土地の野草を刈り取って餌とします。夏は熱中症との闘いです。冬は草が生えないので農場で採れた or 他の農家さん協力の野菜くずを餌としています。緑餌を与えないと卵黄が白色になってしまいます。鶏も緑餌が大好きです。

この従来の飼料も、一般的な養鶏に比べれば二種混の配合割合はずいぶん低いです。

スーパーで販売されている卵は、こうした飼料を与えられていないと思います。

自給卵とする鶏の飼料は(くず米 20-30%、米ぬか 60%、大豆かす 10%、魚粉 4%、カキガラ 1.5%、しょうゆ粕・発酵飼料・緑餌)です。

わたしたちが登録をすることで、農場は計画的に鶏を育てることが可能になります。(毎週違う数の注文で、卵が余ってしまうと農家さんがとても困られます。) 登録は毎週供給で1個から受付けています。スポット自給卵を注文して、輸入飼料に頼らない&のびのびと元気に育つ飼い方を継続できるように農場を応援しましょう！



←会員のお孫さんノブ君が自動ふ卵器で、自給卵を温め続けて(何度もチャレンジ!)4/9 生まれたヒヨコ幸ちゃん(こうちゃん)です。